

# 「高低差」地形ウォーク第7回

## 断層、山城、地下河川を巡る

# 神戸

2023年4月13日

<参加メンバー> 6人(男性3人、女性3人)

<天候> ☀

### <コースタイム>

JR新神戸駅 10:00~10:20 熊内八幡神社~10:30 断層崖~  
11:10 布引の滝~11:50 布引五本松堰堤~11:55 断層粘土層  
~(昼食)~13:25 猿のかずら橋~14:05 滝山城跡~15:20 新  
神戸駅~旧生田川河川崖(不動坂)~15:35 北野神社~旧トーマ  
ス邸~15:50 北野川(地下河川)起点~マンホール巡り~16:30  
生田神社~阪急三宮駅 6.5H 約10Km

### <山行の概要>

このウォーキングはその土地の高低差・地形や歴史を探究する目的のため  
毎回必ず地形図、等高度線図と解説書を持参し、それらの資料と目の前の  
風景を対比しながら歩き実感することを励行しています。今回は百万年前  
から六甲山を突き上げてきた断層のうち諏訪山断層や布引断層を観察し、  
布引貯水池に流れ込む清水/濁水の管理用の堰を見て、戦国時代の山城を訪  
ね、まぼろしの川といわれる地下河川の北野川をマンホールを探しながら  
辿り、由緒ある生田神社を経てミュンヘンへ到着しました。(Gi)



新神戸駅を出発



六甲トンネルを出る新幹線



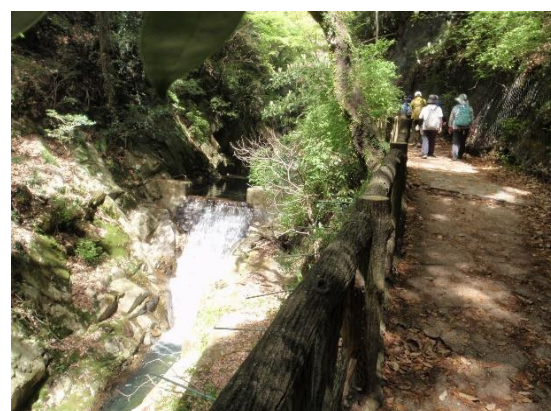
新幹線の陸橋を超えて熊内八幡神社の鳥居



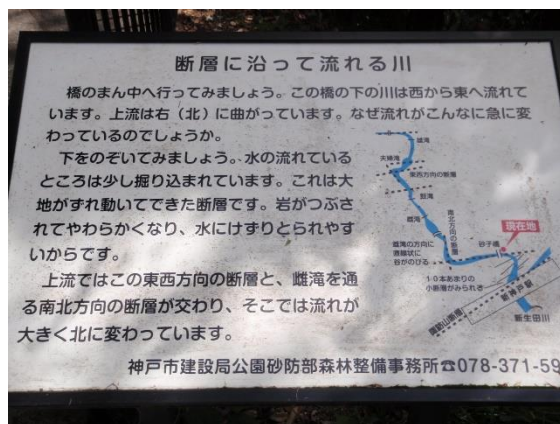
熊内(くもち)八幡神社



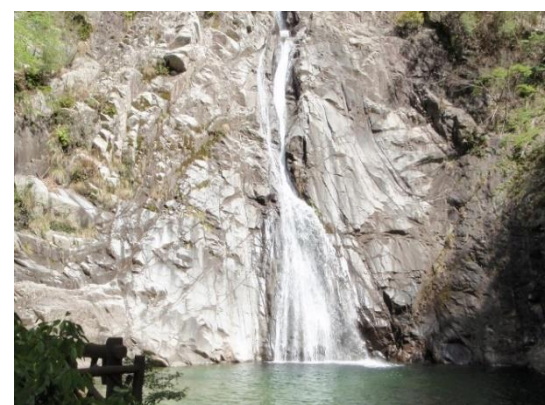
諏訪山断層(中学校の裏手にある)



布引溪谷沿いに進む



諏訪山断層が動き川の進路が変わった



布引の滝、断層の隆起による。落差 43m

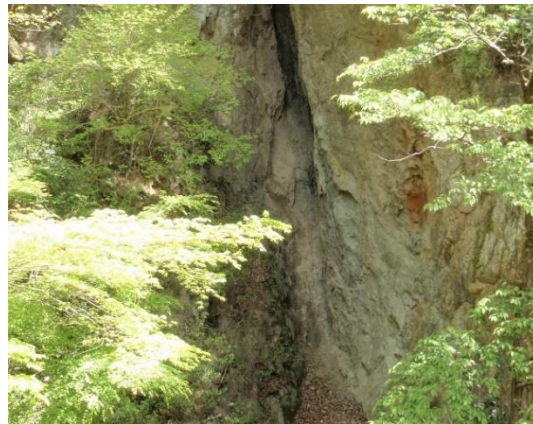


五本松堰堤。明治33年竣工。高さ33m





本日の参加者全員



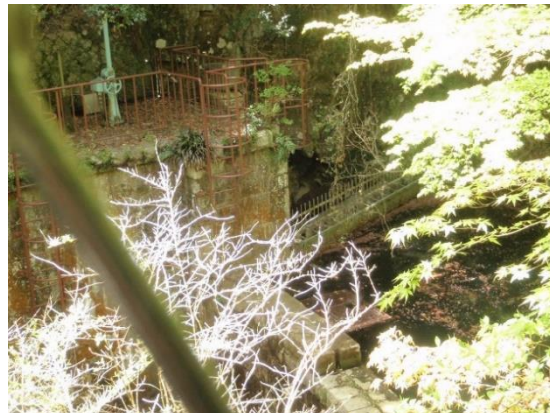
布引断層の露頭の粘土層



締切堰堤、分水堰堤の説明板



締切堰堤



分水堰堤



新緑のダム湖畔を行く



五本松堰堤



昼食。ちょうど人数分のテーブルで



猿のかずら橋。巻き付いていた蔓はない



城山への急登。頭上にロープウェイが通る



ルート上、神戸市街地を見下ろすポイント



滝山城の堀切跡



曲輪跡の平坦地や崩れた石垣が残る。



滝山城の本丸跡。建物跡は何もない



神戸市街地を見下ろしながら下山





北野町の断層崖、高さは50m程あるか



断層崖、生田川の流れが削ったらしい



北野神社。平清盛が建てた由緒ある神社



北野神社から神戸市街地を見下ろす



北野川の起点山側にある沈砂池



沈砂池の歴史をケーキ作りの先生から伺った



北野川の石碑。二級河川、川起点とある



最初は開渠。この下流で暗渠となり、この後



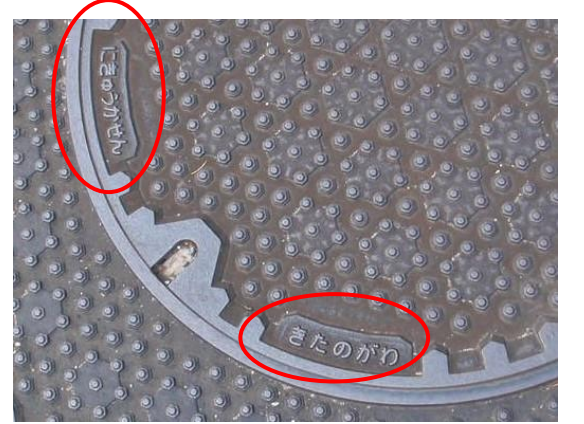
→ 北野川は地下河川として道路地下を流れ下る



北野川の流路はマンホールを辿れば分かる



マンホールには川や河川の表示



マンホールはいろんな種類がある



生田神社



拝殿の裏には生田の森が残っている



×はこれ、お疲れさまでした